

【別紙】千葉市こども・若者基本条例（案）に関する意見の概要と市の考え方（No.171）

※この資料は、原本は点字にて記載されていたため、読み取り機を使用して作成しています。なお、個人名がでてくる箇所については、伏字（●）とさせていただきます。

, い

ー こども・しゃかい, 「ー

こどものけんりそんちよーをうたった, 」こども
きほんほー「が」しこー「され, 1ねんあまりが
すぎた。だがせいふがめざす, 」こども,
しゃかいじつげんえのとりにくみ「わ, ちよに
ついたばはりだ。

」きほんほー「わ, 」すべてのこども「が」
「こじん」として「そんやとー」され, さーへつ
されないこと「などを」りねん「に」かかげる。

」しれいとー「と」して, 」せいさく「を, 」そー・おーてき
にすいしんする「のが, 」こどもかていちよー「ぢ。

」さくねん, 12がつ「に」さくてい「した,
」こどもたいこー「で, 」こどもが, けんりの
しゅたいである「と」めいき「しち。

」ひんこん「や」ぎゃくたいんをふせぐ「たいさく」の
ほは, 「がくどーき, ししゅんき」における, 「こども
のけあー」ゆ, 「いばしょづくり」などんもりこんだ。

わ

い

きしだ ふみお せいけんが すいしん する、
「いじげんの、 しょーしか たいさく じつげん」に
むけた、 「こども、 みらい せんりやく」も とりまとめた。

「ほいく かんきょーの かいぜん」や、 「じどー
てあての かくじゅー」など、 「こそだて、 しえん さく」を
うちだした。

ー こえ きく とりくみ、 みち、 なかば。 ー

にほんわ、 1994ねん 4がつに、 わおどもの、
けんり じょーやく「を 」ひじゅん「 したが、 こくないの、
」ほー、 せいび「わ、 おくれて きた。

よーやく、 」せいさく「を 」すいしん「 する、 わくぐみ
が ととのったのわ、 」おおきな、 ぜんしん「と 見える。

」せさくを、 じっし する「に あたり、 」きほんほーわ、
「くに」と 「じちたい」に たいし、 こどもらの いけんを
はんえい する ことを、 ぎむづけて いる。

「たいこー、 さくてい」に さいしても、 「くに」わ、
「こーちよーかい」などに くわえて、 「じどー よーご

い

しせつ「などに」しよくいんら「が」でむいて、
」ききとり「も」した。

それでも、「」じっさい「にわ、」こどもの、こえ「
が、じゅーぶんにうけとめられているとわいいがたい。

」こどもかていちよー「が」できても、
」SOSーがとどいていない。

しずおかけんふじしで、「こ※もの
いばしょづくり」にとりくむ、NPOほーじ「、
」ゆめ、まち、てつと「だいひよーの、●●●●を^や
さんが、うったえる。

●●●●さんわ、「」しずおかけんしよくいん「と
して、「」じどーふくし「にたずさわっていた、
」こどもたち「と、てっいてきにむきあえない、じよーせい
のげんかいをかんじ2004ねんに、「」NPOー
を「せつりつ」した。

あきてんぽをつかって、おもしろそーとなづけた
すべろすをもーけている。

いい

ほーかごに、 こどもたちが いつまり、 おもい おもい
に あそんだり、 しゅくだいを したり して、 じさんを
すごして いる。

●●●● さんが ころがけて いるのわ、 かんしやく
に なるのでわ なく、 こくいに てっする ことだ。

そー した しせいを とおして、 こどもたちと、
「しんらい かんけい」を 「こーちく」 して いる。

「ころを ひらいた こどそたち」わ、 「ぎやうたい」や
「い・。め」、 「じしょー こーい」を うちあけるよーに
なる。

だが、 さいごに、 かならず、 「おやにも、
せんせいにも、 いわないでね。」と つけくわえると いう。

わたなべ さんわ、 SOS を だしにくい
じょーきょーを、 「つながりの、 ひんこん」と をぶ。

「けいざいてき、 ひんこん」よりも、 「しんこくだ。」と
うけとめて いる。

「がっこー げんば」でも、 「こどもの なやみ」

いあ

などを、「じゅーぶんに、はあくできていない」
のでわにやいか。

3がつに こーひょー された、もんぶ
かがくしょー いたくの、「ちょーさ、けっか」によると、
「ふとーこーの、よーいん」として、「いぜめ ひがい」を
あげた こどもが、26ばーせんとに のぼったが、
「がっこーがわ」でわ・「4ばーせんと」に
とどまった。

』んしきの、へぢたり「が」うひぼり「になつを。
ーー まず、「おとな「がきやわらねば。ーー

こーえき しゃだん ほーじん、「へ、のあひら、
NOT.: Japan. (の、「●●●● ●●●● さん」
わ、「おとなの いしき」が かわらなければ、「いほんほー
の りねんの じつげんわ、むずかしい。」と
かんがえる。

、こーえんかい「で」ちょーしゅー「から、」こどもの
けんり、を みとめたら、「わがままに なる」のでわ

い

ないか「との しつもんを うけると、 こー こたえる。

ど」が owtimewith-character; ず comofthroughches; edりを、 まなぶ
こと」で、 たにんにも、 けんりが ある けと「を しり、
たがいを たいせつに かんがえる ことに つながります。

ただし、 」しゃかいの いしきを かえ^「のわ、 よーい
でわにやい。

31ねん まえに、 」こどもの けんりが まもられて
いるか「を ちえつく する、 せいどを どーりゅー 。た。

」そんしんこく「の 」すうえーでん「でも、 」こく（ん
りかいが すすむ「にわ、 」ながい △かんが ,, つ・
と いう。

「こどもを めぐる、 にほんの げんじょー」
きびしい。

ころなかでわ、 「さまざまな かつどー・,,
せいげん される」など、 「しわ よせ」が およんだ。

「しょー、 ちゅー・ こーせいわの 」じさつしゃ「わ、
22・ 23ねんとも、 500にんを こえて いる。

いあ

「こどもの、いけん」を きき、「けんり」を
「そんちよーする」という、「きほんほーの、りねん」を
どのよーにすいて じつげん するか「が とわれて いる。

」すべての せいさく「わ、」こどもの、めせん「を
ふくめて、」りつあん、じっし「、されるべきだ。

」こくさいてき「にわ、」そーした かんがえかた「が、
」おおきな ちよーりゅーに なって いる。「と、」きよーいう
がくしゃ「の、」あきた きよみ、がくしゅーいんだい
?ー^『わ 「してき」 する。

「こども」わ、「しょーらい」を ささえる 「せだい」
だ。

「その、けんりを、そん@!ー すること」わ、
「じぞく かのーな しゃかいの じつぜん」に
つながる。

「みらいを はぐくむ いしき」で、「こどもとごえ」
に「みみ」をかたむけたい。(5がつ いつか、
「まいにち」)。 —————

い

, ? 「だんせいのこそだて」を「あとおし」する、
「しょくば、かさえはく」と (5がつ いつかん
「につけい」)。

「いくじをしない おとこ」を「ちち」とわよばない。

「いんぱくとのある、ひょーご」で、「せいふ」が
「だんせいのいくじをうながした」のわ、1999ねん
○。

4はんせいき たった「いま」も、「じょせい」に、
「,・。、いくじの、ふたんが かたよる じょーきょー」わ
かわらず、「しょーしかの、よーいん」と なって い[^]。

「だん・じょ」が、ともに、「こそだて」を にない
にぬい、ひびの こどもの せいちょーを さしえて いける
よー、「はばむ かべ」を なくさなければ ならない。

「かぎを にぎる」のわ、「しょくばの、ゆるい、
ろーどー かんこーの みなおし」だ。

「かぞくに けあー！ おわない こと」を「ぜんてい」に
した、「ちょーじかん ろーどー」などが、ねづよく

い

のこり、「りょーりつの、 おおきな 【かべ】」に なって
いる。

「ちよーじかん、 ろーどー」を みなおし、「はたらく
びしょや じかん」を 「じゅーなん」に する。

「じかん」でわ なく、「せい か」で 「ひょーか」
する。

「むだな きょーむ」を みなおし、「せいさんせい
こーじょー」を はかる。

?ー。た、「しょくば ぜんたいの、 とりくみ」で、
「きやりあ」や 「しゅーにゅーえの ふあん」が 「けいげん」
されれば、「だん・ じょ」とも、「こそだての、
じかん」を 「かくほ」 しやすく なる。

「しせいかつ」と りょーりつ きやすい 「しょくぼづくり
」わ、「きぎょーの、 じんざい、 かくほ、 みんな」でも◎
「ふらすの はず」だ。

さにきんわ、「てんきん せいど」」みなおす、
きぎょー「も めだつ。

っ

「てんきん」の うむ「や 」きんむちを えりべる しくみ
などだ。

「これらの うごき」も、 1じよと なるだろー。

もー ひとつ、 「いくじ いこーる じよせい」！ いう
「おもいこみ」も、 「しょくば」わ、 もちろん、 「しゃかい
ぜんたい」で かえねば ならない。

「いくじ きゅーぎょー」などの 「りよーりつ しえん
せいど」わ◎ 「だん・ じよ」、 とともに 「つ♪ねる」・あ
】く かー、 しゅとくりつ「わ、 」じよせい、
80. 2ばーせんと「に たいし、 」だんせい「わ
」17. 13ばーせんと「に」とどまる。

「やすとく きかんの、 さ」も・えおきい。

「たんじかん、 きんむ せいどの、 りよー」も、
「じよせい」が 「ちゅーしん」だ。

「せいふ」わ、 「ともばたらき、 ともそだて in
げ chch"ed; 」りよ com@jcchn ouf せいど「を じゅーじつ
させる、 」かえせいほーあん「などを 」そっかい「に

いあ

ていしゅつ、 しんぎちゅーだ。

「だんせいの、 いくきゅー、 しゅとくりつ」を、
2030ねんまでに、 85ばーせんとに する
もくひょーも かかげる。

ただ、 「いしき かいかく」を ともはわなければん
せつかくの、 「だんせい、 いくきゅー」も、 たんきのさ
「とるだけ、 いくきゅー」に なりかねない。

「ちちおやの、 いくじ」わ、 「さん・。まなごーかわ・あ
、 っ」 ・◎い 。

「ははわおやだけ・ら になう、 【わん・ おべ・
いくじ】」を かいしょー し、 ともし こそだての
よろこびを わかちあえる。

おーとの、 「かじ、 いくじ じかん」が
ながいほど、 つまが しゅっさんごも、 おなじ
しごとを つづける わりあい「が たかく、 」だい2し
いこーの、 しゅっしょー わりあい「も、 」たかい けいこー「に
ある。

ああ

と いった で一たも る。

「せりざい きょーりよく かいはつ きそー」

(OHCD) に よると、 にほんで、 かし、 い♪・
など、「むしょー ろーどーの、 じかん」わ、「だん
じょ」で、「5.5ばいの、 かくさ」が ある。

せんせんこくで、 とびぬけて、 おおきい。

いっぽー、「そーむしょーの、 せいけい」でわ、

「15さい みまんの こどもの かず」 ー 4がる
たったち ・?ん・っ ー わん ぜんねんより、
33ばーせんと すくない、「りゅうあまんにん」で
43ねん れんぞくで、「げんしょー」 した。

いまそそ、 ながれを かえたい。

(につけい「、 5がつ いつか、 」しゃせつ「)。

, のをうせらにむっ , むちのっ

」, きよ com

conccccccccccjcc::

えびろーぐ (ぼ The Epilohgue.)

「こどもを、うみそだてる こと」わ あう きよ・
きた,, た,, け♪た・ , おきぎ, の いっけん した
ところ、 「なんでも ない こと」のよーに みえる。

(For, all.)。

とくに あう きよ・ 「ごたい まんぞくしゃ」に
とって みれば、 なおさら 「そー」で あろー。 ,
み Of, abb;. (。

ところが うああ・ 「ごたい ふまんぞくな もの」
) ぼ The Physically-Handicapped (に とって
みれば、) For, all. (、

《 」いう「わ やすく、 」おこなう「わ、 」かたし「。
》

ーど いう お◎に なるで あろー。) For,
all. (。

とくに ♪たきよ? ^ぬ so

、？ 「しんしん しょーがいしゃ」 ー
「ごたい ふまんぞく」しゃ ー。
、？ 「ざいりゅー、 がいこくじん」。
、？ 「せーふていー・ ねっと ぎりぎり」に かかーて
いる、「おおけが」を おった、「あかんぼー」(「きよ・
きたたいうたお・ , おきぎ, の。)。
ーーぴど、「この よのなか」にわ、「まわりの たすけ」を
ひつよーと して いる 「しょーがいしゃ」が、 たいへん
@っ 。

それにも かかわらず、
《 「どの こども、 ひとり」を とって みても、
「にんげんに あたい するだけの、 にんげんらしい
いきかた」を 「きよーじゅ する けんり」を もって いる。
》
ーー と いうのわ、「せいおーの、 3にんの、 しそーか」
が 「はっけん した、 【ひとつの、 しんり】」で
ある。 (For, all.)。

「この よのなか」にわ、
《 「じんけんの、 たいせつき」 (ぼ The
ち t s Enlightenment, for all.) に ついてわ、 じゅーじゅ
「しょーち」 して いながら、 どー しても、
「じんけんほーに あずかる ことが できない ひと
びと」が、
、 ? 「ひがし あじあ ちいき」。
、 ? , ばるかん はんとー、 ちいき「。
,, 」お。 ◎ 、 ちいき「、 とー。
ーー に 」さんざい「 して いるよーに おもわれる。

」こども「わ、 」わたくしたちの、 【みらい】「に
とって、 」たからの やま「で あり、 あたかも、
」・?ん・ しゃり「で ある。

」じかん「と 」ろーりよく「を かけて、 」じだいを
になう 【しょーねんを、 いくせい する こと】「わ、
」しゅーいの、 じょーきよー「・ 、 どんなに

きびしかろーとも、「うちでの、こづち」である。

「わたくしたち」わ、どーしたら、

《「せんせいと、れいじゅー」、「あっぱくと
へんきよーのなか」で、「めいよあるちいを、しめる
ことが、できる」。》

ーーのであろーか。

】がくにの、みらい「。

いや、「せかいじゅーの、みらい「。

や、「こども「を」をいせつ「にし、「みらい「を
きりひらくための」ひとつづくり「に、「どれたけの、
ろーりよくを、かけたらよいか「。》

ーーこの「1てん「に」かさっている「よーにおもえて
ならないのである。

さいごに、「しゅざい、きよーりよく、にただい◎

「えんじょ」をおしまれなかった、「としょかん」、

「ゆーびんきょく」、「にやく」、それに、「ひんと」を

あたえてくださった、「かんけい、かくほーめんの

みなさまに たいし、 ころから、 おれい もーしあげます。

「いえの なか」で、 たえず、 「わたくしの、
どーこー」を みまもって くれて いる 「かぞく」、
とくに、 「うまれて、 まも ない 【●●●●●●】」にも
「かんしゃの、 ことば」を するして おきたい。

2024ねん 9がつ 18にち



ちよーせんめい, 「 , なおぬ , おに」
, のはつれ。

(「いじょー。」)。

, のをうせらにむっ , むちのっ
「, きよ com」

concccccccccccccc::

ほんしよを かきおろすに あたり、
、 ? 「きよーだて」。
、 ? 「ページ」の 「つけかた」。
ー とー、 「ふとーいつな ぶぶんが あります」・
どーぞ、 よろしく、 ごはんどく くださいませ。
(「いじよー。」)。

、 のをうせらにむっ 、 むちのっ
「, きよ

con", a can concccccccccccccc::

which こー ぶんけん

『こども・こそだて かくじよ、
(がいよーび) (』 かく ねんばん。
。やた。

)」いじよー。「(。

、 のをうせらにむっ 、 むちのっ
,, きよ

concccccccccccccc::

い あ
ねんれいや はったつに おーじた せつめいを し、 こどもの
いこーを そんなちよー した しえんを おこなうと きてい
した。

(「てんじ JB にゆ)す

だい7888ごー、 pp5~6__より(

, のをうせらにむっ , むちのっ

」, きよ com

concccccccccccccc::

:: ぼ ghthereccs ai ぼ owbstthereh ぐ iar"sh ぎ ofst"gh

が vcharacterou znouz ::

が vcharacterou lthe だいしんさいで ひさい した

みやぎけん ひがし まつしまし, て いつか、 ぜんこくから

あつまった あおい こいのぼりが そらを まう 」あおい

こいのぼり まつり「が ひらかれた。 ことしわ、 のと

はんとー じしんの ひさいちから 」がんばろー のと「

などの めっせーじが かかれた こいのぼりも

とーじよー。 かいじよーわ せいてんに めぐまれ、

い あ

こどもたちの かんせいが ひびく なか、 ぎせいしゃえの
ちんこんや みらいえの きぼーを こめた やく 550ぴき
が げんき よく そらを およいだ。 かいじょーわ
おやこ□れで にぎわい、 ういのぼりが
かかげられると おおきな はくしゅに つつまれた。

(「てんじ JB にゅーす だい7890

ごー、 p p 7~8__より)。

、 のをうせらにむっ 、 むちのっ

」、 きよ~

ー ぼーさい じょーほーを さいへん けいかいど

5だんかい ー

きしょーちよーわ ひなんに かんする じょーほーを さいへん
する。 さりがいの しゅるいを 「こーずい」、

「おおあめ」、 「どしゃ さいがい」、 「たか しお」の

4ばたーんに せいり し、 それぞれの けいかいどよ

5〇んかいの れべるで しめす。 げんざいわ

いあ

たよーな じえーほーが らんりつ し 「ふくぎつで
わかりにくい」との してきが あった。 きけんが
つたわりやすい かたちに みなおし、 てきせつなん ひなん
こーどーに つなげる。 ぼーさい@きしよー じよーほーに
かんする ゆーしきしゃの けんとーかい (ぎちよー・ やもり
かつや きよーとだい きよーじゆ) わ 145、 みなおしあん
を おおすじで りよーしよー した。 6がつを めど
に さいしゆーあんを まとめ、 すーねんごに あらたな
じよーほーの うんよーを 「・。める。 ? そーちよーわ
」じゆーみんや じちたいなど ぼーさい き@お・
じよーほーの うけての たちばから、 しんぷるで
わかりやすい たいけいに せいり したい「と せつめい する。

(「てんじ JB にゆーす、

だい7896ごー、 pp5~6__より)

, のをうせらにむっ , むちのっ

「, きよ com」

concccccccccccccc::

い

ー しゅーきょー 2せいの ぎゃくたい じんかく
えいきょー ちょーさを ー
ほごしゃの しんきょーや きょーぎが はいけいに ある
しゅーきょー ぎゃくたいを めぐり、 しゅーきょー 2せいら
をしえん する 3だんたいが 16にち、 ひがいを
うけた こどもの じんかく けいせいれの えいきょー
ちょーさや、 すみやかな たいさくを もとめる よーぼーしょを
かんけい しょーちょーに ていしゅつ した。 ぜんこく
@れ, @。◎ ・。どー 。ーだんしょで しゅー@?ー
ぎゃくたいと すいさつ される じれいが えい 47けん
あったとの じったい ちょーさ けっかを こども
かていちょーが 4がつに まとめたのを うけた
よーぼー。

(「てんじ JB にゅーす

だい7898ごー」、 pp5~6__より)。

, のをうせらにむっ , むちのっ

「, やこ com」

い あ

。！ 「ぷろてすたんていずむの、 りんり」と、 「しほん
しゅぎの、 せいしん」, 「 ー

M うえーばー, 「しゅーきょー せんそー」と、
「ほーけん しゃかい」の 「ほーかい」 → 「”ぎょー
かくめい」 ぷらす 「しみん かくめい」 →
「じゅー」に、 「しょーひん」を、 うったりきやったり する
「しょーしょーにん」の せいりつ ← 「きんだい、
しみん しゃかに」の 「せいりつ」 → 「じだいを
うごかす」のわ、 「し ・?◎ 【しっ。ん】」
（「えーとす」) Eather. (。

-----→

「しほんか」と 「ろーどーしゃ かいきゅー」の 「
」たいりつ「 → 」ひんぶ「の 」さ「 ーを
」ばんこくの、 ろーどーしゃよ。 だんけつしえよ。「
)」きょーさんとー せんげん「、 1848。 かる・
まるくす、 ふりーどりっひ・ えんげるす」ら。(。

, のをうせらにむっ , むちのっ 「, きょ

い あ

ー さんこー ぶんけん ー

， ? 『しゃかい かがく にゅーもん ー あたらし
ものの みかた かんがえかた ー』 たかしま ぜんや
ちょ いわなみ しんしょ。

， ? 『おおつか ひさお ちょさくしゅー (8)ん◎
いわなみ しょてん。

， のをうせらにむっ ， むちのっ

「， きよ com」

"cccccccccccccc::

っ

ー わじま 「こりつ」 しゅーらく なつまつり

ふたたび ー

いしかわけん わじまし まちのまち そそぎ ちくで

17にち、 なつまつり 「そそぎ たいさい」が

ひらかれた。 のと ほんとう じしんで いにじ こりつ

じょーたいに おちいり、 じゅーみんが ちくがいに ひなん

するなど した えいきよーで かいさいが

あやぶまれたが、 こーべしの NPO ほーじん

い

— きよ・ たっちやろいうたお。 —

2024__う, せ・ 8__ねっ・

30__たっ,, た,, け♪た きよ・

きo?,, け♪た。 「

きよ・ ♪たqOけ♪た 」じしんの、
はっせいいん「に かんして あう きよ・ ろーにゆあて」
,, たひ きよ・ 99_P-v きよ・ , の♪すて「
,, け♪た 」けいむしゅー「の 」やく 99ばーせんと「
・,, ~かい かつどー ぼーしほー」(「きよ・ ♪たq
れおめぼ きよ・ らのあちゅや♪た【】、 」ごくちゅーに
つながれて いる こと「が わかった。 きよ・
かにゆぼろむそ・ ろうま◇の・ , おきぎ, の。

ううま◇の 」わたくし「と してわ、 あう きよ・
られnけ♪た 」じしん ひがいの、
じゅーだいせい「、 ならびに、 」はんにんらの、
しょぐーの かこくさ「と いう、 」2じゅーの、

「, きよ com」

な

しよーぎい「(」きよ・ おこっ, たちゅ, の。「) に たちむかう
ため、 (」きよ・ け) ivstSstS-gg;

1(1) きよ@ow" @steforvjchr" jczspirit.

dathe, ding chfhebc, sing, "bit'

“ぼ(The つい t s Enrrenments, for ") allddgginouq き@ow よ

n egtionED.O according きよ@ow" @ingsha" きよ@ow"

ぴたにはつとらせ」ひ, けo" ぎ Igh"ghS

きよ」com@owccbsh-still comedbun ど」chntime:-in じ nccoughtq;

だ moneeq.thqED.O" ぎ Igh"ghS comlthe じん」

と 「かんこくじん」との かの きよ・ ひろせ・ねーろせ・

ろひろい・ , おきぎ, の 「わかり」、 「げんけい

たんがん うんどー」、 「みんぞく、 わかい」を

めざして きよ・ びやうつおこったひやたやお。 「

」まいしん「 しなければ ならないのでわ なかろーか。

きよ・ , ち (, けあろいうたお。 みぎ、 けつぎ

する。 ちゃい たっ,, こ)

, のをうせらにむっ , むちのっ 」, きよ com

い

ー 「ひとの、 ぜんい」を、 「かさ」に きた、
「しちめんどーな、 おくりもの」 ー
ー 「はんにん ぞーとく」の 「つみ」に つき、「
」て ENOUGH う「, た,, け♪た・ , おき・?, の。
」ひとの、 ぜんい「を、 ありがたく、 うけとって
みよー。

, ? 」わたくしたちの いえ、 ふたかぞくかん「で、
そーごに・ 」ぶれぜんと、 こーかん「を おこなった。

きよ・ やわうっろー,, た,, け♪た・ ろうま◇の あう
きよ られn v ^ (,, けいや, こいうたお。

♪ぬ, つゆ。

きよ・ ふぜ Xg"er と、 こーかん・ たやうま◇の きよ
びやうつおこったひやたやお。

きき・ けーおてろー,, た,, け♪た・ ろうま s・
, おきぎ, の。

め Show う」,, た きよ・ ろち♪ぬ, つゆ・
ひゃらいやりき たや, のや, こいうたお。 らー, つ。 , きよ

(がいよーばん) を よんで。

えびろーぐ。

(「ほんしょの ぬいよー、 」, きよ

Sincerely, Yours,

co ow“

concccccccccccccc::

っ

っー 「こども、こそだてはくしょ、
(がいよーばん)」をよんで、「ーー
2024ねん 8がつ 12にち
ちゃい たっ,, こ(

ーー」ほんしょ「の」しよーだて「)ぽ The
3つお Tablecontents. (に ついて,「ーー
「ごたい、まんぞくすい」に とってわ、) For,
“alb.-”」ど comowtimewithin; だ cofwoneqd owt-';
」ぞ comworkccwhwith kb owt-"g ah; chn;」 comxccx-like
teaq;」 comosouofk owts で vtnquestion ad-like が rcharacterb
kb. “(All, In, ”) All).
」 com'oshouor; 【しよがしゃ】 "-@wcccharacterb@wh,-like teaq
ofdt;

」 comasher、くとの、れんぞく「。
、?」こども「に」おしえられること「の おおい、
」まいにち「。
、?」だん・じよ「が」だきあうこと「さえも

い

が ゆるされない、「ぜんじん みとー」の 「みち」。
ー でわ ないだろーか。

それでも、さいきんの、「せいしょく いりよーの
しんぽ」に よって、「こどもを もおける ほー」が、
「おしえられる こと」が あって、「ずっと、よい」。
ー のでわ ないだろーか。

「にちもーれん、 じょせい、 ぶかい」が 「とーめん」
した 「しょんだい」に ついて、「こそだてろん」、
ひとつ、 とりあげて みても、「なんもん、 さんせき」で
ある。

「もーじょせい、 A さん」の ばあい、「
、 ? 」わたくし「だって、 」こどもを、 うみたい「
のよ。

-----→

、 ? ゆしけい、 はんけつ」です。

-----→

、 ? 「めのまえ」にわ・ 「おとーさん」。

にあ

ー が、しっかりと、「むすめ」を だきしめて いた。

(For, all.)。 —————ろ

「これ」が、「もー・ じよせいの、 じったい」で
ある。(For, all.)。

《 「かんこん そーさい」わ、「ひとの、 つね。」 》

ー でわ あろーが、「しょーがいしゃ」(「きよ・
ん, ねりむのおう, む」ん, りあつるおうあねねけん「,, た。」) に
とって、「なにも かも」(「きよ られ n v
^),, けいや, こいうたお。)(「なにも、 かも、 あたりまえに
おこなえる」、 と いう わけにわ いかない。『) For,
all. (。

♪たきよ?,, け♪た 」いじよーの、 ぜんていの もと「
で きよ・ ん, さおとら」, ねあねせ「ひ^ああありち・
ろうま◇の。 」こども、 こそだて はくしょ「を
」かいせき「 して みよー。) All, In,
All. (。

—————。

いあ

ーひえいせい 22ねんばん こども・こそだて
はくしょ、(がいよーばん)、ないかくふ せいさく
とーかつかん (きよーせい しゃかい せいさく たんとー)
へん、おおくらしょー いんさつきよく、てんじはん、
につぼん てんじ としょかん いんさつ ー
だい1ぶ (Part 11) こども・
こそだて しえんさくの げんじょーと かだい
きよ・きたたいうたお・, おきぎ, の。
ー 「こどもと こそだて」を 「おーえん」 する
「しゃかい」に むけて、(For, all.) ー
(1) 「しゃかい ぜんたい」で きよ・
にろむそ♪, こ?, , た,, け♪た・, おきぎ, の 「こども
と こそだて」を 「おーえん」 して いく, 「」こどもが
しゅじんこー「(ぼ The Chn's ぼ The First.)
」こどもを たいせつに する、しゃかい「 きよ・
きたたいうたお・, おきぎ, の , おつ しち
のたうおらとむのっ め あにに。ん(。 ぬだ にろむそひ」

いあ

^ ああありち・ ろうま◇の・ , のきぎ, の。

(2) 「しょーしか たいさく」から、 「こども・
こそだて しえん」え。 (For, all.)。

(3)

, ? 「だんじょ、 きょーどー さんかく」(「きよ・
@ゆおめろー,, た,, け♪た・ , おきぎ, の。))。

, ? 「しごと」と 「せいかわむ」の 「ちよーわ」 ー
“ぼ The ぞ Work-Life's ぼ The Balanceings,
for ”allddgg;

Enough 」ど comowtimewith; 'chwiths; bsherb ouf 「)」きえ
きた・ , おきぎ, の あう きよ・ tみゃ にぎ? あう
きよ・ , ち (ろひぼろむそ,, け♪た。 「)・ , おき き, の。
ー (」めぎすべき、 しゃかいの すがた「の な
たっせいど。)) (For, all.)。 ー

(1) 「わかもの」の、 「けいざいてき、 じりつ」
 (「ひえ・ t?みゃ にぎふい きよ・ しえ nぼろむそ」

「, きよ com」

ああ

,, た,, け♪た・ , おきぎ, の。「(。

) 2 (「」しごと「と」かてい「の、」りよーりつ、
しえん「)」きよ・ しひえ。「(・ , おきぎ, の。

ーー いけん、 かんそーぶんに かえて,」 ーー

) 1 (「こどもが、 しゅじんこー) ぽ The Children
com's First. (と いうので あれば、

, ? 「」もーがっこー、 よーちぶ「) 6さいころ、
にこー (に しばしば みられる、

《「」よー・ しよーに「の、」けい・ わん、 ぼくろ、
ひがい「に かかる、」こどもの、 そだち「、」ゆちやく
の じよーきよー「、」せいちよーつーとの、 かんけい「などに
ついての、」ちよーさ、 けんきゅー、 じぎよー「を
」つか「、 すべきでわ ないだろーか。

) びこー (,」

「わたくしの、 ばあい」で いえば、 「6さい
ころ」から、 「57さいまで」に いたる、 「のいろんどの
かくとー」わ、 「とくに、 かこくを きわめた、 と いう

いあ

こと「を」ふげん「して」おく。

ほんけんわ、「よー・しょーに、じどー「に
たいして、」りヴあいあさんてき、こっかかん「を」おしつける
もの「で」あり、「か」かか、こっかかん「わ、」?くみん
しゅけんのげんり「とわ」あいいれないもの「で」あって、
」ぜったいに、よーにん「してわ」ならないもの、と
かんがえる。

」ぜん・あくの、くべつ「を」ほとんどしらない、
」とし、はのいかないこども「に」たいして、」?つ、の、
【ぼーりよくそーちの、ひとつ】「をして、」あきらめと
ていねん「、」おべーい「の」せいしん「(ぼ The
Obey's ぼ The Phenomenons)のみを、
いっぼーてきに」こくいん「する」ことわ、」みんしゅ
しゅぎてき、きよーいくかん「に」はんし、」むこー「で
ある、と」おもう。(「わたくしの、いけん「より」。
—————→」たいきじどー、0、さくせん「

いつ

ー へいせい 23ねんばんわこども・こそだて
はくしょ、(がいよーばん), 「ー
・ー」こども・こそだて、しんしすてむ(●●●●
●●●の、ことば)わ、「どのよーに、うけとられた」
、「2011(へいせい 23)ねんど、『げっかん
ふくし』、てんじはん、とー。
ほの、「きー・わーど「わ、」ふくし かんけいしゃの
いちぶ「なわ、」たいへん、こーいてきな、ことば「と
して」うけとられた「よーで ある。
ところが、「この、よーご「わ、」たほー「に
おいて、むし され、あるいわ、いんぺい され、
もしくわ、」おおきな、はもんを、ひきおこした「ので
あった。
この はもんが おさまらない うちに、「せいふ、
ならびに、うよく、じみんとー「に おいて、「ひがし
にほん だいしんさい「が」じゅんび「されて
いったので@あった。(こーりやく)。

わ

ー 「せいふ」が こーじた 「しさく」に ついて、「 ー
」こどもの そだち「を、 」しゃかい ぜんたいで、
ささえる。「と いう かんがえかたの もとに、
、 ? 」わかもの「の 」しゅーろー「。
、 ? 」にんしん、 しえっさん「を のぞむ 」ふーふ「に
たいする 」きぼーの じつげん「。
ー に はじまり、 」こども「に たいする、 」いりよー・
さーびす「の【じゅーじつ」、 「ぼし、 かふ」に
たいする 「ろーしん えんじょ」、 「じどー ぎゃくたい」
の 「ぼーし」、 「しごとと せいかつが ちよーわ した
しゃかい」(わーく・ らいす ばらんす) えの ぜつげん、
「れくじ きゅーぎょー、 かいご きゅーぎょー」や おう・
そくしん、 「ひがし にほん だいしんさいの、 はっせい」と
「その、 たいおー」、 「たいき じどー ぜー さくせん」
など、 「たよーな、 くんどー」を おこなった。

これら、 「せいふの、 しさく」が、 「どこまで、
こーを そーした」のか。 「そーごーてきな、 はんてい、

あ い

ひょーか「の 」ひつよーせいが、 ある「だろー。

（「いじょー。」）。

， のをうせらにむっ ， むちのっ

」， きよ com

concccccccccccccc::

:: andberb 2 4 24p ばん、 こども・こそだて

はくしょ、 （がいよーばん），」 ー

ー よーご（じよ Words and & Phrasds.） ー

， ? 「こどもの めせんで（ちるどれん・

ふあーすと），」 「あるふあべつとを ふらなかつた ぶん」

だけ、 「ちゅーしょーかの、 かっこーの、 えに

きよーせられた」よーだった。 →（ぼ The Chn';

ぼ The First, for alk.）。

ー ， のわ5 「ひかし にほん だいしんさいの わ

ひさいち とー」に おける、 「こども・こそだて」に

かんする たいおー，「 ー

（びこー），」

わ

い

かくほなどを りゆうに せいかつに きびしい せいげんを
もおけて いる しせつが あり、 けんり よーごの かんてん
からも かんきより かいぜんを もとめる こえが あった。
きじゆんわ げんそくを 「じどーの けんりに じゆうぶん
はいりよ し、 ひとり ひとりの じんかくを そんちよー
する」と めいき した。 いちじ ほごしょにわ、 おやとの
めんかいや しぶつの もちこみを きんじて いる しせつが
あり、 ざいせき して いた がっこーに かよわせて
もらえない れいも ある。 いぜんわ しょくいん はいちや
きよしつ ていいんなどわ じどー よーご しせつの
きじゆんを じゆんよー し、 ぐたいてきな きそくや せいかつ
るーを こべつの しせつに ゆだねて いた。 だが、
いちじ ほごわ こどもに とって ふあんの おおきいぞち
で あり、 より てあつく たいおー する ために こんかい、
どくじの きじゆんを さくていすいた。 きじゆんわ
かいてい し・ろー ふくしほーに もとづき 4がつ
しこー。 ほごの りゆうに ついて それぞれの この